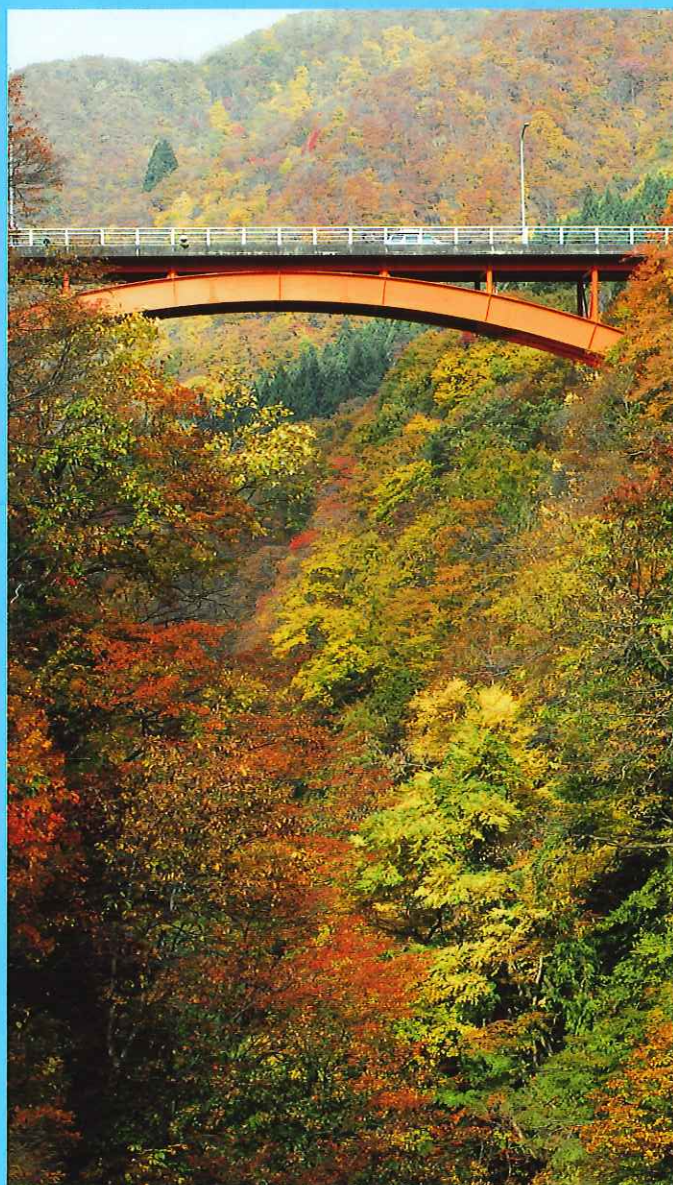
働く生きがいを　若い世代へ伝えよう!!

シルバー連合会 あきた

No.64
平成26年10月

秋田県湯沢市「小安峡」

公益社団法人　秋田県シルバー人材センター連合会
〒010-0951 秋田市山王六丁目1－13　山王プレスビル８F
TEL(018)888-4680　FAX(018)888-4681
ホームページ　秋田県シルバー人材　検索

目　次

● 巻頭言
(公社)秋田県シルバー人材センター連合会　筆頭副会長　野口良孝 … 3
● 安全就業パトロール実施状況 ……………………………………4～5
● 高齢者を交通事故から守るために
高齢者交通事故防止ネットワーク会議から ……………………6～7
● 基盤拡大事業実務担当者会議の開催 ……………………………… 8
● センター便り（チョットいい話） ………………………………… 9
● 「ショベルローダー運転技能講習」を実施して ………………… 10
● 平成26年度シニアワークプログラム技能講習会実施状況(9月末現在)…………… 11
● 事務局業務日誌（平成26年度上半期)、編集後記 …………………… 12

表紙の紹介

「小安峡（おやすきょう）」

小安峡は、秋田県湯沢市にある雄物川支流皆瀬川上流にある渓谷です。全長約８㎞で栗駒国定公園に含まれます。高さ約60ｍのV字渓谷の谷のダイナミックな空間は、四季を通じて訪れる人を魅了します。絶壁の谷間から、98度にも達する蒸気が噴出する通称「地獄釜」と呼ばれる「大噴湯」は大迫力で、四季を通じて頭上の赤い橋とのコントラストも見所です。渓谷を流れる水は透き通っているため、きれいなコバルトブルーです。そして木々達が色とりどりな装いとなって鮮やかに輝き始める秋は、小安峡を訪れる絶好の季節です。さらに小安峡には大噴湯だけではなく、沢山の紅葉スポットがあります。紅葉真っ盛りの小安峡で、お気に入りのスポットを見つけてみてはいかがですか？是非小安峡へおざってたんせ！

地　図

アクセス　湯沢横手道路　湯沢Ｉ.Ｃより車で40分（28㎞）
ＪＲ湯沢駅より車で45分

地方創生

（公社）秋田県シルバー人材センター連合会
筆頭副会長　野　口　良　孝

今年の夏は、気温30度を超えた日が少なく、皆様にとって過ごしやすい夏だったのではないでしょうか。一方西日本では、豪雨による土砂災害により幼い子供からお年寄りまで犠牲となる大災害が発生いたしました。被害に遭われました皆様へのご冥福とお見舞いを心からお祈りいたしますとともに、あらためて災害の恐ろしさとその対策の必要性を感じながら、日々平穏に暮らせることのありがたさも感じた夏でした。

さて、この度の総会で、連合会副会長に就任することとなりました。皆様のご協力のもと、責務を果たしてまいりたいと存じますのでよろしくお願いします。

昨今、シルバー人材センターを取り巻く状況は、契約金額の伸び悩み、会員の減少と課題は山積しております。県の人口統計調査によると、本県の人口は、昭和32年に135万人になりましたが、以後減少を続け、平成24年は106万3千人となっており、今後平成32年に95万9千と100万人を切るものと推計され、平成52年には70万人に減少し65歳以上の人口の割合は、43.8％となってますます高齢化が進展すると見込まれています。先頃の第2次安倍内閣改造では、多くの女性閣僚の就任の話題とともに、地方創生担当が新たに設けられました。人口減少や少子高齢化などの問題に直面している中で、地方で暮らす私たちにとって、地方創生は、地域再生や地域活性化の大きなバネになることを期待したいと思います。

また、7月23日には、連合会会長を筆頭に三役にて「秋田県」と「秋田労働局」を訪れ、全シ協総会決議に係わる要請活動してまいりました。今年度は、補助金及び公共事業の発注に関し今年度以上の確保とともに、「収支相償」に関すること、さらに「財政安定化資金」の設置の早急な措置を要請してまいりました。

各センターでも、契約額の増、新入会員の獲得、経営基盤の安定と様々な取組をしておられることと思います。シルバー人材センターが、発注者及び働く意欲のある高齢者にとって、頼りになる魅力あるセンターとなるには、何をするべきかを、みんなで知恵を出しあっていかなければならないものと考えております。そして、その智恵が地方創生の一助になればと願っております。

最後に、皆様とのパイプ役としての連合会の果たす役割は、益々重大になろうかと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

安全就業パトロール実施状況

■シルバー会員の『事故ゼロ』をめざして

7月29日～9月17日まで22全センターを訪問し、連合会とセンター安全委員会等の役員及び安全就業推進員合同による安全就業パトロールを実施しました。今年度は、雨や雷などのために就業中止によりパトロールができなかったセンターを除き12センターにおいて、植木剪定や草刈り作業などの現場パトロールを実施しました。

パトロール実施後、「作業別安全就業基準」のチェック表によるパトロール結果の「振り返り」を行い、連合会配付資料の説明（①県内シルバー会員の事故発生状況、②シルバー会員の就業形態、③「シルバー派遣」の積極的な活用、④平成25年度安全就業パトロールの「振り返り」から、⑤熱中症・蜂刺され予防等）の後、意見交換を行いました。

8月26日　仙北市・枝打ち作業

9月2日　湯沢市・振り返り

9月4日　大館市・刈払機作業

9月17日　男鹿市・庭木剪定

～平成26年度安全就業パトロールから～

■安全就業パトロールの「振り返り」から

■服装・履き物、作業一般の主な注意点

・夏は暑くても半袖ではなく、長袖（袖口のしまったもの）、地下タビなど作業にあったものを着用のこと。
・安全帽（ヘルメット）は、必ず着用のこと。
・車や通行人が往来する歩道・道路などでは、作業中の看板やカラーコーン等の作業標識を設置すること。
・使用休止中の刈り込みハサミなどは、立てかけたり、刃先を上向きにしないこと。

■脚立・ハシゴ・足場使用作業の主な注意点

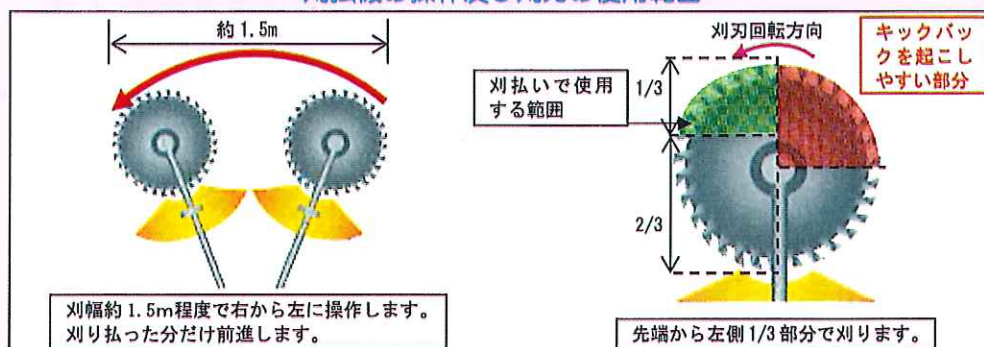
・地上より２ｍ以上での作業をする場合は、安全ベルト及びヘルメットを着用し、あごひもは必ず結ぶこと。
・脚立・ハシゴは、滑りにくい丈夫なロープ等で固定し、開き止め（ロック）を確実に行うこと。

■刈払機・チェンソー等作業の主な注意点

・複数人で作業を行い、合図・連絡・声掛けをすること。
・電動工具（刈払機・チェンソー・ヘッジトリマー等）の使用にあたっては、「取扱説明書」をよく理解し、危険の無いように十分に注意をはらうこと。
・飛び石による人・車両・窓ガラスなどへの事故を防ぐため、防護ネット等の対策を取ること。
・飛散物（飛び石や小枝など）から目を守るため、保護メガネを着用すること。
・刈刃に草・枝木などが絡まった場合は、必ずエンジンを切ってから取り除くこと。
・狭い場所ではエンジン音が高く、作業前のミーティングをして周囲の環境には十分配慮し、接近作業（５ｍ以内は危険区域）を避けること。

刈払機の操作及び刈刃の使用範囲

約1.5m
刈幅約1.5m程度で右から左に操作します。
刈り払った分だけ前進します。

刈刃回転方向
キックバックを起こしやすい部分
刈払いで使用する範囲
1/3
2/3
先端から左側1/3部分で刈ります。

高齢者を交通事故から守るために

～秋の農繁期に向けた高齢者交通事故防止ネットワーク会議から～

９月９日（火）、秋田県警察本部において、「秋の農繁期に向けた高齢者交通事故防止ネットワーク連絡会議」が開催されました。

会議では、事故発生状況の報告があり、今年８月末の高齢者の軽トラックの交通事故発生比率は、昨年の29％に対して今年同期は6.9％と、関係者の努力のおかげで大幅に減少され、今後一層の事故防止に努めてもらいたいとの要請がありました。

現在、秋田県内の65歳以上の自動車運転免許証の保有者は15万５千738人で、全体の22％を占め、今年８月末現在の交通事故死者29人のうち、23名が高齢者です。昼夜別の事故発生率は２月～８月には日中の事故が多く、９月～12月には夜間の事故が多く発生し、その中でも薄暮時間帯の高齢歩行者の事故多発が懸念されることから、「交通安全処方せん」のチラシや、反射材の活用などによる高齢者の交通事故防止対策の説明後、出席した当連合会はじめ、関係行政・各団体から交通安全に対する事例発表があり、積極的に高齢者の交通安全に取り組むことを確認し合いました。

平成26年度　交通安全作品コンクール「秋田弁川柳」最優秀賞

『反射ざい　俺も付けるし　オメだもな』

高齢者の事故防止

農繁期迎え啓発強化

県警がネットワーク会議

県警は9日、高齢者による交通事故が多発する秋の農繁期に合わせ、安全対策などを話し合う「高齢者交通事故防止ネットワーク会議」を秋田市の県警本部で開いた。農業関係者や老人クラブの会員ら15人が参加し、事故防止への意識を高めた。

森屋昭雄交通部長が「夕暮れが早くなるこの時季、毎年事故が多発する。もう一度気を入れ直し、効果的な対策を考えたい」とあいさつ。各団体が取り組んでいる事故防止策を報告した後、今後は▽車の早めのライト点灯▽夜間外出時、歩行者の反射材着用▽暗くなる前に農作業の中断―など、ポスターや街頭でのチラシ配りで呼び掛けることを決めた。

県警交通企画課によると、今年の県内の交通事故死者は8月末現在で29人（昨年同期比4人減）。このうち高齢者は23人で、全体の約8割を占めている。同課は「高齢者の事故を減らすことが死亡事故抑止につながる。一人一人が事故防止の意識を強く持ってほしい」としている。

（加藤慶一郎）

高齢者の事故防止策を話し合ったネットワーク会議

26. 9. 12
秋田さきがけ新聞

～高齢者交通事故防止ネットワーク会議から～

○秋田県内の高齢運転者が起こした交通事故（平成26年8月末現在）

（人身事故）

区　分	平成25年	平成26年	増減数	増減率
発生件数	337	346	9	2.7%
負傷者数	435	421	△14	△3.2%
死者数	10	13	3	30.0%

○交通事故の特徴

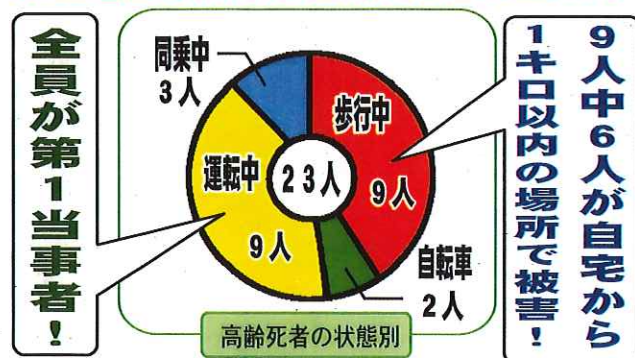
運転者	65歳～	70歳～	75歳～	主な形態	正面衝突	出合い頭	追　突	路外逸脱
	105	93	148		22	127	98	2
主な運転車両	普通車	軽自動車	原付きなど	主な原因	前方不注意 安全不確認	ハンドル・ブレーキ 操作不適	一時不停止 信号無視等	安全速度
	179	158	3		199	40	51	7

シルバー交通安全だより 65

平成26年 第4号

高齢者の交通死亡事故22件（23名）発生！

平成26年8月29日現在

交通死亡事故のうち約8割が高齢者！

運転者のみなさんへ

- 体調が悪い時は運転を控えましょう
- こまめに休憩をとり、ぼんやり運転に気を付けましょう

歩行者のみなさんへ

- 反射材を必ず身につけましょう
- 横断前に左右をしっかり確かめましょう
- 体調が悪い日は、外出を控えましょう

秋田県警察

交通安全処方せん

効能：事故に遭わない・起こさない

横断するときの特効薬

- しっかり**止まって安全確認**しましょう。
- 遠回りでも**横断歩道**をわたりましょう。
- 夜間の外出時は**反射材**をつけましょう。

運転するときの特効薬

- 体の調子と相談して**無理のない運転**をしましょう。
- ぼんやりしたり考え事をしないように**運転に集中**しましょう。
- 近くの距離でも**シートベルト**を必ず着用しましょう。

安全

秋田県警察本部

基盤拡大事業実務担当者会議の開催

～「就業機会拡大⇔会員拡大」で基盤拡大を ～

8月28日（木)、秋田市「イヤタカ」において、連合会及び12センターから就業機会拡大推進員など関係職員21名が出席のもと、基盤拡大事業実務担当者会議が開催されました。

はじめに、連合会から基盤拡大事業に取組む趣旨について説明があり、①平成26年度は団魂の世代660万人（秋田県は6万人）の全てが65歳に到達し労働市場から退出する方々のため、新たな就業機会を確保・提供し、社会を支える立場で続ける高齢者を増やしていくことが急務となっていること。②厚生労働省や全シ協の「あり方検討会」、自由民主党のシルバー活性化議員連盟などから、就業機会拡大と会員拡大について提言がなされていること。③このため、地域の高齢者に就業機会を確保し提供するという本来の機能を拡充するため、就業機会拡大と会員拡大に取組むこととする。と説明がありました。

続いて、8月5日開催の全シ協・生涯現役社会活躍応援事業実務担当者会議の伝達があり、必須の就業開拓と会員入会について、「①会員による1人1仕事開拓、1人1会員入会、②過去の発注先を全て訪問、③他センターで同一の企業がある場合は、当該企業を訪問」などの説明があり、分科会での全国他連合本部・センターでの取組み事例の報告がありました。

最後に、出席全センターの就業機会拡大推進員等から、今年度の活動状況の発表があり、他センターの就業機会拡大と会員拡大に関する具体的取組み状況を参考にして、今後の基盤拡大事業の推進に活かしていくことを確認し合いました。

センター便り（チョットいい話）

（公社）美郷町シルバー人材センター

信頼されるセンターへ

今年度、美郷町の観光地であるラベンダー園にて、ひときわ目立つ白い雪のような国の登録品種になっているラベンダー『美郷雪華』を活用し、ルームフレグランス（部屋用芳香剤）を作る作業に、当センターも携わらせていただきました。

開園前の除草作業、フレグランスの液を抽出するためのラベンダーを刈り取る作業、製品の充填作業と依頼をいただきました。作業する中で、やはり美郷町の観光名所であるため、観光客はラベンダーを見るだけではなく、シルバー会員の作業風景も見ているようで、「シルバーさんは頑張れだなぁ」という感心の声もいただきました。

町を挙げての事業において、当センターを活用していただけたことで、仕事ぶりが人の目に留まる機会が多くなり、受注件数も増え、作業会員の健康状態に留意しながら、嬉しい悲鳴を上げられる現状は、『シルバー人材センター』そのものが地域に認知され、信頼されてきている証なのではないかと思っております。

これからも、信頼されるセンターとして、日々努力、邁進していきたいと思います。

なお、『美郷雪華』のルームフレグランスは10月11日から販売しております。

八峰町シルバー人材センター

地域貢献をめざして

八峰町では、国道101号線沿い「道の駅みねはま」奥にある「ポンポコ山公園」において10月11日から12日まで「第8回はっぽう～んめものまつり」が開催されました。

このお祭りは、豊富な食材を用いた「んめもの」と旬の特産品で町を大いにPRし、イベントを通じて町内各施設への周遊を積極的に促すとともに、ご当地グルメを楽しんでいただきながら地域の伝統芸能に触れる機会をつくっています。

「国盗りあみ引き合戦」～観光的県境を賭けた熱い戦い～

青森県鯵ヶ沢町・深浦町、八峰町が平成21年から行っている観光連携企画。毎年各町の代表的なイベント会場で開催。「綱（つな）」ではなく「網（あみ）」を引き合うのは漁師町ならではのイベントです。

そこで、当センターでは、イベントが開催される前の峰浜地区の公共施設への社会貢献とシルバー会員の技術の向上のための剪定技術講習会を兼ね、10月1日に「道の駅みねはま」と「ポンポコ山公園」駐車場周辺の松の剪定を実施しました。

当センターが実施する地域の公共施設の整備等は関係者に大変喜ばれており、今後もこのような活動を通してシルバー人材センターをPRしながら、町当局や地域住民の方々に貢献していきたいと考えています。

「ショベルローダー運転技能講習」を実施して

SP技能講習では初めての「ショベルローダー運転技能講習」を陸上貨物運送事業労働災害防止協会に一部委託し、９月４日より全７日間の日程で（公社）秋田県トラック協会研修センターを会場に実施しました。

55歳以上の方で就職・就業を目指し、ハローワークに求職登録している19名の受講者が作業の安全を第一に、緊張しながらも熱心に受講され、学科試験、実技試験ともに全員が見事に合格されました。

冬季に入り除雪作業への就業機会が多くなることから、今回取得した資格を活かしての就職・就業が期待されます。

なお、本講習は、最大荷重が１トン以上のショベルローダーの運転の業務（道路上を走行させる運転を除く）に従事できる資格取得講習です。

平成26年度シニアワークプログラム「技能講習」実施状況（開催日順）

平成26年9月末現在

No.	地域	講習名	期間	定員	受講数	修了数	未修了	主会場
1	秋田市	フォークリフト運転技能	5/16（金）～5/26（月）	20	20	20	0	秋田県トラック協会研修センター
2	能代市	清掃・調理補助員	5/20（火）～5/29（木）	20	18	17	1	働く婦人の家・能代市総合体育館
3	男鹿市	緑地保全管理（B）	5/22（木）～5/30（金）	20	19	19	0	サンワーク男鹿
4	由利本荘市	緑地保全管理（B）	6/2（月）～6/10（火）	20	27	27	0	西目公民館（シーガル）
5	横手市	警備補助員	6/2（月）～6/11（水）	15	14	13	1	黒川公民館
6	秋田市	緑地保全管理（B）	6/4（水）～6/12（木）	20	16	16	0	秋田県青少年交流センター
7	鹿角市	農業補助員	6/9（月）～6/19（木）	15	14	14	0	かづの果樹センター
8	美郷町	緑地保全管理（B）	6/12（木）～6/20（金）	20	19	19	0	みさと福祉センター
9	大仙市	フォークリフト運転技能	6/13（金）～6/23（月）	20	16	13	3	秋田県トラック協会県南研修センター
10	北秋田市	緑地保全管理（B）	6/17（火）～6/25（水）	20	30	30	0	浜口公民館
11	能代市	緑地保全管理（B）	7/1（火）～7/9（水）	20	17	17	0	能代市総合体育館
12	横手市	緑地保全管理（A）	7/7（月）～7/17（木）	20	20	20	0	黒川公民館
13	大館市	パソコン実務（初級）	7/8（火）～7/17（木）	15	21	21	0	東光コンピュータサービス（株）
14	仙北市	観光ガイド	7/9（水）～7/18（金）	15	17	17	0	角館樺細工伝承館
15	鹿角市	緑地保全管理（A）	7/14（月）～7/25（金）	20	19	19	0	花輪第一中学校
16	大仙市	緑地保全管理（B）	7/22（火）～7/30（水）	20	19	19	0	秋田県立農業科学館
17	潟上市	パソコン実務（初級）	8/20（水）～8/29（金）	15	23	22	1	潟上市天王福祉センター
18	大館市	フォークリフト運転技能	8/21（木）～8/29（金）	20	15	15	0	秋田県トラック協会県北研修センター
19	由利本荘市	清掃・調理補助員	8/26（火）～9/4（木）	20	17	14	3	由利本荘市職業訓練センター
20	仙北市	パソコン実務（初級）	8/27（水）～9/5（金）	15	18	18	0	仙北市総合情報センター
21	北秋田市	警備補助員	9/1（月）～9/10（水）	15	15	15	0	北秋田市交流センター
22	横手市	パソコン実務（初級）	9/3（水）～9/12（金）	15	19	18	1	（株）しすてむ工房
23	秋田市	ショベルローダー	9/4（木）～9/12（金）	20	19	19	0	秋田県トラック協会研修センター
24	大仙市	パソコン実務（初級）	9/8（月）～9/19（金）	15	18	18	0	大曲地域職業訓練センター
25	能代市	パソコン実務（初級）	9/24（水）～10/3（金）	15				能代文化学院
26	秋田市	パソコン実務（初級）	10/6（月）～10/16（木）	15				（株）アイネックス
27	湯沢市	観光ガイド	10/15（水）～10/28（火）	15				湯沢雄勝広域交流センター
28	五城目町	パソコン実務（中級）	10/21（火）～10/30（木）	15				五城目町地域活性化支援センター
29	鹿角市	パソコン実務（中級）	10/21（火）～10/31（金）	15				鹿角市交流プラザ
30	秋田市	警備補助員	11/5（水）～11/14（金）	15				秋田県青少年交流センター
31	湯沢市	パソコン実務（中級）	11/5（水）～11/14（金）	15				（株）プラティア OAステーション
32	男鹿市	パソコン実務（中級）	11/10（月）～11/19（水）	15				サンワーク男鹿
33	北秋田市	パソコン実務（中級）	11/18（火）～11/28（金）	15				東光コンピュータサービス（株）
34	美郷町	パソコン実務（中級）	11/18（火）～11/28（金）	15				美郷町中央行政センター
35	由利本荘市	パソコン実務（初級）	11/25（火）～12/4（木）	15				由利本荘市職業訓練センター
36	秋田市	パソコン実務（中級）	12/8（月）～12/17（水）	15				秋田経理情報専門学校
合計				615	450	440	10	

※緑地保全管理（A）はチェーンソー、（B）は刈払機。

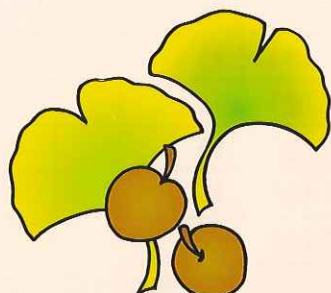
事務局業務日誌（平成26年度上半期・SP技能講習除く）

4. 1　辞令交付
11　第１回事務局長会議
15　会長事務指導
22　秋田労働局ＳＰ事業監査
23　高齢者交通事故防止ＮＷ会議
24　東北シ連協第１回幹事会
25　第１回ＳＰ事業担当者会議
5. 8　監事監査
12　役員選考委員会
16　第１回三役会議
20　第１回理事会
20　ＳＰ実態調査事業連絡会議
28　行政関係機関連絡調整会議
30　全シ協第１回連合事務局長会議
6. 5　ＳＰ事業打合せ会議
9　東北シ連協理事会
11　安全標語選考委員会
12　秋田県労働局ＳＰ事業検討委員会
18　平成26年度定時総会
19　東北シ連協通常総会
26　全シ協平成26年度定時総会
7. 4　ＳＰ事業打合せ会議
11　安全就業推進大会
11　全シ協派遣元責任者講習
15　会長事務指導
18　第１回機関誌編集委員会
7.23　全シ協「総会決議」に基づくシルバー事業への支援要請
・秋田県知事（三役対応）
・秋田労働局長（三役対応）
24　全シ協シルバー派遣担当者研修
28　全シ協「総会決議」に基づくシルバー事業への支援要請
・市長会、町村会（事務局長対応）
29　安全就業パトロール及び業務実態把握（7/29～9/17まで全センター訪問）
8. 5　全シ協生涯現役社会活躍応援事業実務担当者会議
8　ＳＰ事業打合せ会議
12　会長事務指導
21　東北シ連協職員研修会（～22日）
28　基盤拡大事業実務担当者会議
29　ＮＲＩユーザー研修会
9. 5　第２回機関誌編集委員会
9　高齢者交通事故防止ＮＷ会議
9　ＳＰ事業打合せ会議
12　全シ協第２回連合事務局長会議
16　会長事務指導
25　第２回事務局長会議
26　ＳＰ事業第２回連絡会議

編集後記

今年度に入って、毎月のシルバー事業の統計数字が出るのを楽しみにしている。秋田県内の８月末の事業実績をみると、対前年度比、受注件数や契約金額などプラスに転じたものもある。

９月に開催された連合事務局長会議でも全シ協・金内専務理事は、就業延人員や契約金額は、対前年度比プラスの連合は半数近くあり、シルバー事業の反転攻勢が始まっている。と力説されていた。センター・連合の基盤拡大に向けて頑張りましょう。

（加賀）

シルバー連合会　あきた
No.64

○発行年月　平成26年10月
○編集発行　(公社)秋田県シルバー人材センター連合会
秋田市山王６丁目１－13　山王プレスビル８Ｆ
TEL 018-888-4680　FAX 018-888-4681
○印刷所　株式会社　松原印刷社